学校番号	1006

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術演習Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術演習Ⅰで学んだ造形作品の制作に必要な知識を生かし、美術演習Ⅱでは、より主体的に制作に取り組み、より能動的に自分の作品について、追究してください。
各学期に課される課題については、必ず完成させて提出し、期限を厳守してください。

2　学習の到達目標

1　美術演習Ⅰで学んだ技術を発展させ、技術を確認することができ、さらに発展して高次元の表現を習得する。
2　制作を通じて表現すること、ものを作ることの楽しさや完成の喜びを味うことができる。
3　作品の鑑賞をとおして表現の方法や技術を感じ生涯にわたり美術を愛好する心を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主 題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1学期	展覧会に向けての制作①	7月に行われる展覧会に向けて、絵画もしくは平面デザインの制作に取り組む。 目的意識 を明確にし，学習の意義や内容，評価について理解 する。 絵画もしくは平面デザインの主題の生成を行い、描画方法、レイアウトの方法、それぞれに対して必要な道具の使い方を追究する。	a:絵画やデザインにおける画面構成や道具の使い方を理解し、適切に表現できている。 b:主題の生成や発想を練り、構図や色使いを工夫することができている。 c:他者の作品を鑑賞し、自己の作品を振り返ることで、自己理解を深めることができる。	エスキース、道具の使い方、作品	エスキース、構図、色使い、作品	ワークシート、エスキース、完成度
2学期	展覧会に向けての制作②	1月に行われる展覧会に向けて、絵画もしくは平面デザインの制作に取り組む。 目的意識 を明確にし，学習の意義や内容，評価について理解 する。 絵画もしくは平面デザインの主題の生成を行い、描画方法、レイアウトの方法、それぞれに対して必要な道具の使い方を追究する。	a:絵画やデザインにおける画面構成や道具の使い方を理解し、適切に表現できている。 b:主題の生成や発想を練り、構図や色使いを工夫することができている。 c:他者の作品を鑑賞し、自己の作品を振り返ることで、自己理解を深めることができる。（c）	エスキース、道具の使い方、作品	エスキース、構図、色使い、作品	ワークシート、エスキース、完成度
3学期	展覧会に向けての準備・鑑賞	2学期の完成作品の鑑賞を通して、自己理解や他者理解をする。 協力して搬入出の準備を行う。	a:自分の作品の主題や工夫した点などを適切に表現できる。 b:他者の作品を鑑賞し、他者の考えや発想を理解することができる。 c:他者の作品と自分の作品について理解し、美術やデザインについての理解を深めることができる。 他者と協力することができる。	鑑賞シート、作品	鑑賞シート、作品	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度